

特集

『クロザピン療法』について



統合失調症の治療は、長期的な入院が必要な時代から、地域で生活しながら治療できる時代になっています。しかし、統合失調症の患者さんの約 30%は、抗精神病薬に反応しないと言われ、未だに長期の入院や幻覚妄想などに苦しんでおられます。このような『治療抵抗性統合失調症』と言われる患者さんにも世界で唯一有効性がみとめられている抗精神病薬があります。それが、最後の切り札ともいべきクロザピン（商品名：クロザリル）という薬です。

『治療抵抗性統合失調症』には、

①十分な薬物療法を行っても症状が治りにくい反応性不良

②副作用のために必要な量の薬剤が投与できずに症状がよくなる耐容性不良の 2 つタイプがあります。

クロザピンは、幻覚妄想の症状の改善が大きい、QOL を改善する、認知機能を改善する、自殺を減らす、攻撃的行動を減らすなどの有効性がみとめられています。

このように、有効性が高い薬ですが、他の薬以上に副作用に注意が必要です。無顆粒球症、心筋炎、糖尿病、けいれんなどの重篤な副作用があるからです。特に、「無顆粒球症」に注意しなければなりません。日本で発売後に行われた調査ではクロザピンを服用した 1.1%の方に無顆粒球症がみられました。

このため、重大な副作用が起きたときに迅速な対応ができる医療機関だけが取り扱える薬です。また、統合失調症の診断、治療に十分な経験を持ち、講習を受け合格した医師のみが処方できます。入院期間中に開始し、原則 18 週間以上の入院が必要となります。この期間に無顆粒球症が発症しやすいといわれているためです。クロザピンによる治療を安心して受けるため、クロザリル患者モニタリングサービス（CPMS と呼ばれます）という第三者機関に患者の登録と血液検査の結果を報告することが義務づけられています。

現在、中東遠地域では当院だけがクロザピンが処方可能な医療機関です。総合病院精神科という副作用にも迅速に対応可能な利点をいかして、クロザピン療法などとともに、今後も、統合失調症患者さんの症状改善と社会復帰を支援していきたいと思えます。

【 担当：精神科 大城 将也 】

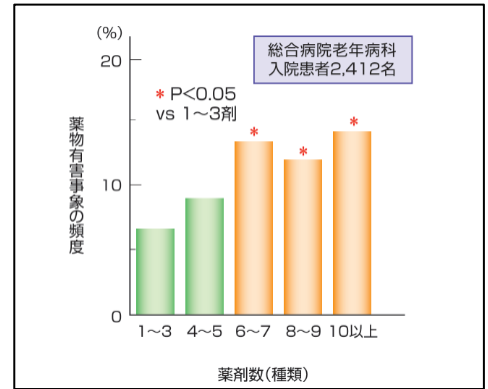
診療実績

○受託検査実績		
項目	7 月	8 月
CT	57 件	36 件
MRI	40 件	31 件
超音波検査	14 件	9 件
その他検査	8 件	6 件

○診療実績			
項目		7 月	8 月
紹介患者数		323 人	274 人
逆紹介患者数		278 人	259 人
1 日当り患者数	入院	191.7 人	191.7 人
	外来	400.1 人	381.7 人
病床利用率		73.7%	73.7%
救急搬送件数		152 件	138 件

ポリファーマシーによる薬物有害事象を防ぐ取り組み

高齢になると身体的、精神的機能の低下とともに複数の慢性疾患にかかり服用薬剤数が増加していきます。多剤服用の中でも害をなすものを特にポリファーマシーと呼びます。ポリファーマシーは、単に服用する薬剤数が多いことではなく、それに関連して薬物有害事象のリスク増加、服薬過誤、服薬アドヒアランス低下等の問題につながる状態です。何剤からポリファーマシーとするかについて厳密な定義はありませんが、薬物有害事象は薬剤数にほぼ比例して増加し、6種類以上が特に薬物有害事象の発生増加に関連したというデータもあります。一方、治療に6種類以上の薬剤が必要な場合もあれば、3種類で問題が起きる場合もあるため患者の病態、生活、環境により適正処方数も変化します。

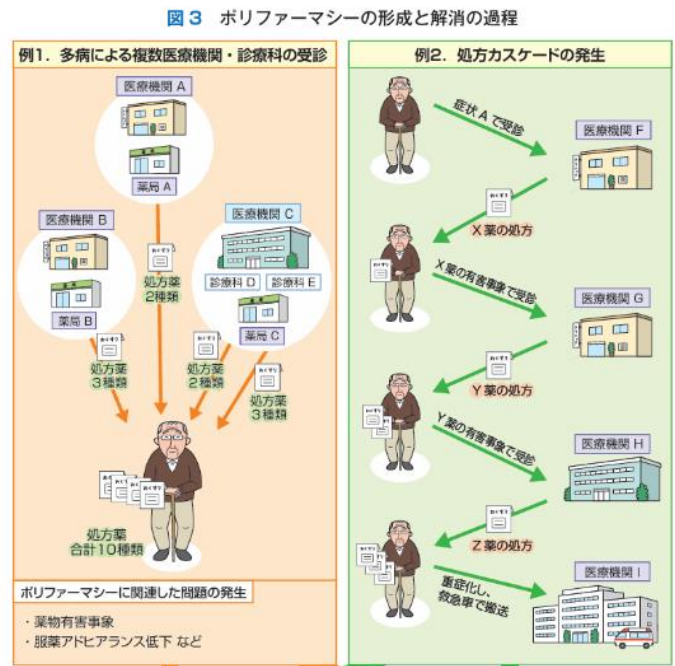


高齢者の安全な薬物療法ガイドライン 2015 より
日本老年医学会

新たな病状が加わる度に医療機関又は診療科を受診していると、それぞれ2、3剤の処方でも足し算的に服用薬が積み重なり、ポリファーマシーになることがあります。また、

新たな病状を薬剤で対処していくと、薬物有害事象に薬剤で対処し続ける“処方カスケード”と呼ばれる悪循環に陥る可能性があります。これらによるポリファーマシーは、かかりつけ医による薬剤処方状況の把握を行なうことやかかりつけ薬局での調剤と医薬品情報の一元化で解消に向かうことが期待されています。

当院に入院された際には急性期の病状とは別の、安定している症状に対する服用薬についてポリファーマシーによる薬物有害事象を防ぐために、優先順位を考慮して見直しを行っています。入院中に薬剤を変更あるいは中止した際はその理由、処方変更後の状態について薬剤調整記録を用いて記載しますのでご確認をよろしくお願いいたします。



高齢者の医薬品適正使用の指針より 厚労省

【 担当：薬剤科 上野 綾海 】

【 発行 】

菊川市立総合病院 地域医療支援課 〒439-0022 静岡県菊川市東横地 1632
 TEL：0537-35-2344 Eメール：renkei@kikugawa-hosp.jp
 FAX：0537-35-2843 ホームページ：http://www.kikugawa-hosp.jp



© 菊川市